

社員総会参考書類

令和 5 年 6 月 16 日開催の社員総会につき、次のとおり議案を提出します。

第 1 号議案 任期満了に伴う会員理事 5 名選任の件

本定時社員総会の終結の時をもって、会員理事が任期満了となることから、会員理事 5 名の選任を求めるものであります。

会員理事候補者は、現任の 4 名の会員理事及び立候補者 2 名です。

会員理事候補者の名簿掲載順（立候補者は届出順）に候補者 1 人ずつに対する賛否をお聞きします。このような順で審議することをご了承ください。

なお、出席社員の過半数の賛成があった者が 5 名に到達した時点で選任手続は終了となり、その後の議案は自動的に否決となります。

また、理事の選任については、協会定款に特別の定めがなく、法律の定めに従うことになり、投票による賛成多数といった手続は採用されないことをご了承ください。

※下線箇所につき次のように変更しております。

候補者全員について審議し、賛否の集計を行ったうえで、出席社員の過半数の賛成があった者のなかから、賛成の多かった者の順に 5 名を選任いたします。

第 2 号議案 任期満了に伴う外部理事 2 名選任の件

本定時社員総会の終結の時をもって、外部理事が任期満了となることから、外部理事 2 名の選任を求めるものであります。

外部理事の候補として、候補者名簿掲載の 2 名を外部理事に選任することにつき、候補者 1 人ずつに対する賛否をお聞きします。

第 3 号議案 任期満了に伴う監事 1 名選任の件

本定時社員総会の終結の時をもって、監事が任期満了となることから、監事 1 名の選任を求めるものであります。

監事の候補として、候補者名簿掲載の 1 名を監事に選任することにつき、候補者に対する賛否をお聞きします。

第 4 号議案 理事及び監事の報酬、賞与その他の職務執行の対価として当法人から受ける財産上の利益に関する件

理事及び監事の報酬、賞与その他職務執行の対価として当法人から受ける財産上の利益については、年間総額 400 万円（税込み）を上限とし、その配分は理事会にて決議することの承認を求めるものであります。

第5号議案 第4期（2023年3月期）事業報告書並びに決算報告書の承認に関する件

第4期（自令和4年4月1日 至令和5年3月31日）における当協会の活動状況は以下の書類のとおりであり、その承認を求めるものであります。なお、東谷監事から、事業報告書並びに決算報告書に関し、適正であることを確認したとの監査報告を頂戴しております。

1. 事業報告書
2. 決算報告書（貸借対照表、損益計算書）

第6号議案 第5期（2024年3月期）事業計画書並びに収支予算（案）の承認に関する件

第5期（自令和5年4月1日 至令和6年3月31日）における当協会の事業計画書並びに収支予算（案）は以下の書類のとおりであり、その承認を求めるものであります。

1. 事業計画書
2. 収支予算（案）

以上

並びに決算報告書に関し、適正であることを確認したとの監査報告を頂戴しております。

1. 事業報告書
2. 決算報告書（貸借対照表、損益計算書）

第6号議案 第5期（2024年3月期）事業計画書並びに収支予算（案）の承認に関する件
第5期（自令和5年4月1日 至令和6年3月31日）における当協会の事業計画書並びに収支予算（案）は以下の書類のとおりであり、その承認を求めるものであります。

1. 事業計画書
2. 収支予算（案）

以上

第1号議案 任期満了に伴う会員理事5名選任の件

本定時社員総会の終結の時をもって、会員理事が任期満了となることから、会員理事5名の選任を求めるものであります。

会員理事候補者は、現任の4名の会員理事及び立候補者2名です。

会員理事候補者の名簿掲載順（立候補者は届出順）に候補者1人ずつに対する賛否をお聞きます。このような順で審議することをご了承ください。

なお、出席社員の過半数の賛成があった者が5名に到達した時点で選任手続は終了となり、その後の議案は自動的に否決となります。

また、理事の選任については、協会定款に特別の定めがなく、法律の定めに従うことになり、投票による賛成多数といった手続は採用されないことをご了承ください。

【会員理事候補者】

候補者番号		氏名	所属企業名	所属企業役職
1	重任	中桐 啓貴 (なかぎり ひろき)	GAIA 株式会社	代表取締役社長 兼 CEO
2	重任	太田 智彦 (おおた ともひこ)	SBI マネープラザ株式会社	代表取締役執行役員社長
3	重任	尾口 紘一 (おぐち ひろかず)	株式会社 Fan	代表取締役
4	重任	福田 猛 (ふくだ たけし)	ファイナンシャルスタンダード株式会社	代表取締役
5	立候補	田中 譲治 (たなか じょうじ)	株式会社アイ・パートナーズ フィナンシャル	代表取締役社長
6	立候補	可児 康充 (かに やすみつ)	エフピーサポート株式会社	執行役員 兼 管理部副部長

会員理事候補者番号 1 (重任)

氏名 (ふりがな)	中桐 啓貴 (なかざり ひろき)
生年月日	1973 年 5 月 21 日
経歴	<p>1997 年、山一証券株式会社入社</p> <p>その後メリルリンチ日本証券にて、ファイナンシャル・コンサルタントとして資産残高 70 億円 (クライアント 180 人)、退社まで常に 1200 人中トップ 10 の成績を残し、最年少でシニア・ファイナンシャル・コンサルタントに昇進</p> <p>留学のため退社し、ブランドイブ経営大学院にて MBA (経営修士号) 取得</p> <p>2006 年、IFA 法人 GAIA 株式会社を設立、代表取締役社長 兼 CEO に就任 (現任)</p>
理事在任年数	設立時から 4 期 3 年 5 カ月
2 年間の理事としての活動等の実績	<p>理事会出席状況：開催 16 回のうち 16 回出席</p> <p>正会員等定例会：開催 8 回のうち 8 回出席</p> <p>研修委員会：副委員長として開催 12 回のうち 12 回出席</p> <p>金融審議会「顧客本位タスクフォース」にオブザーバーとして参加、協会として意見陳述</p> <p>金融庁を訪問 (4 回)、協会の現状や課題の報告及び意見交換</p> <p>大阪及び東京において IFA 法人を対象とした協会説明会を開催、出席</p> <p>ゴールベース・プランニング基礎スキル研修(全 6 回コース)の作成協力</p> <p>その他 FA カンファレンスやセミナーにおける代表者挨拶</p> <p>セミナーへの出講等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2021 年 9 月 9 日第 5 回セミナー/パネリスト ・2021 年 10 月 22 日第 6 回セミナー/モデレーター ・2021 年 12 月 17 日第 7 回セミナー/パネリスト ・2022 年 8 月 23 日第 1 回_ゴールベースアプローチ実践編<勉強会>/講師 ・2022 年 4 月 22 日正会員等定例会<勉強会>/講師 ・2022 年 2 月 25 日第 2 回カンファレンス/講師
理事候補者とした理由	<p>協会の定款に定める協会の目的に資する事業を推進し「倫理綱領」を体現する正会員の代表者であり、豊富な経験、高い見識、高度な専門性や能力を有し、協会発足以来、理事長として当協会の事業推進の中心的役割を果たしており、理事会の構成に欠かせない必要な人材と判断し、会員理事候補者といいたしました。</p>

会員理事候補者番号 2 (重任)

氏名 (ふりがな)	太田 智彦(おおた ともひこ)
生年月日	1983 年 7 月 27 日
経歴	2006 年 4 月 SBI ホールディングス株式会社入社 SBI モーゲージ株式会社 (現アルヒ株式会社) での企画部長、執行役員を経て、 2012 年 6 月 SBI マネープラザ株式会社の発足とともに取締役役に就任 2015 年 4 月 同社代表取締役執行役員社長に就任 (現任) 2017 年 4 月からは SBI リーシングサービス株式会社の取締役を兼務 (現任)
理事在任年数	設立時から 4 期 3 年 5 カ月
2 年間の理事としての活動等の実績	理事会出席状況：開催 16 回のうち 16 回出席 正会員等定例会：開催 8 回のうち 8 回出席 研修委員会：委員長として開催 12 回のうち 12 回出席 ゴールベース・プランニング基礎スキル研修の企画立案(全 6 回コース) ゴールベースアプローチ実戦編勉強会(研修)の企画・立案(全 4 回) FA カンファレンスの企画・立案(2 回) セミナーの企画・立案(11 回) 勉強会の企画・立案(4 回) 協会説明会に出席 (2 回) セミナーへの出講等 ・2022 年 8 月 26 日正会員等定例会<勉強会>/講師
理事候補者とした理由	協会の定款に定める協会の目的に資する事業を推進し「倫理綱領」を体現する正会員の代表者であり、豊富な経験、高い見識、高度な専門性や能力を有し、協会発足以来理事として、また研修委員会委員長として当協会事業の推進に尽力しており、理事会の構成に欠かせない必要な人材と判断し、会員理事候補者といたしました。

会員理事候補者番号 3 (重任)

氏名 (ふりがな)	尾口 紘一(おぐち ひろかず)
生年月日	1982 年 11 月 25 日
経歴	<p>日興コーディアル証券 (現 SMBC 日興証券) に新卒 FA として入社、資産コンサルティング業務に従事</p> <p>2008 年に富山県で Fan を設立、代表取締役就任 (現任)</p> <p>現在は資産運用を気軽に相談できる『投資信託相談プラザ』を全国に展開</p> <p>自身も講師を務める資産運用セミナーは開催数 400 回を超え、延べ 1 万人以上が参加</p> <p>企業型確定拠出年金 (401k) の導入コンサルティング等も行っている</p>
理事在任年数	設立時から 4 期 3 年 5 カ月
2 年間の理事としての活動等の実績	<p>理事会出席状況：開催 16 回のうち 16 回出席</p> <p>正会員等定例会：開催 8 回のうち 8 回出席</p> <p>認知度向上委員会：委員長として開催 15 回のうち 15 回出席</p> <p>協会ホームページコンテンツの充実 (会員紹介ページ改修、「投資を学ぼう」ページを追加しコラム 8 本を掲載)</p> <p>公式 Twitter アカウント開設 (投稿数 43 件)</p> <p>メディア説明会の企画・立案 (1 回)</p> <p>協会説明会に出席 (2 回)</p> <p>セミナーへの出講等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2022 年 2 月 25 日第 2 回カンファレンス/モデレーター ・2022 年 4 月 22 日正会員等定例会<勉強会>/講師 ・2022 年 10 月 28 日正会員等定例会<勉強会>/モデレーター
理事候補者とした理由	<p>協会の定款に定める協会の目的に資する事業を推進し「倫理綱領」を体現する正会員の代表者であり、豊富な経験、高い見識、高度な専門性や能力を有し、協会発足以来理事として、また認知度向上委員会委員長として、当協会事業の推進に尽力しており、理事会の構成に欠かせない必要な人材と判断し、会員理事候補者といたしました。</p>

会員理事候補者番号 4 (重任)

氏名 (ふりがな)	福田 猛 (ふくだ たけし)
生年月日	1978 年 12 月 16 日
経歴	<p>2012 年、IFA 法人ファイナンシャルスタンダード株式会社を設立、代表取締役就任 (現任)</p> <p>2015 年楽天証券 IFA サミットにて独立系アドバイザーとして総合 1 位を受賞</p> <p>東京・横浜を中心に全国各地でセミナー講師</p> <p>「投資信託選びの新常識セミナー」は開催数 290 回を超え、延べ 10,000 人以上が参加</p> <p>著書</p> <p>『投資信託 失敗の教訓』(プレジデント社)</p> <p>『プロがこっそり教える資産運用のはじめかた』(毎日新聞出版) 等</p>
理事在任年数	設立時から 4 期 3 年 5 カ月
2 年間の理事としての活動等の実績	<p>理事会出席状況：開催 16 回のうち 15 回出席</p> <p>正会員等定例会：開催 8 回のうち 8 回出席</p> <p>ガイドライン策定・検討委員会：委員長として開催 7 回のうち 7 回出席</p> <p>協会説明会に出席 (2 回)</p> <p>セミナーへの出講等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2021 年 10 月 22 日第 6 回セミナー/パネリスト ・2022 年 4 月 22 日正会員等定例会<勉強会>/講師 ・2022 年 12 月 2 日第 3 回カンファレンス/モデレーター ・2023 年 2 月 17 日正会員等定例会<勉強会>/講師
理事候補者とした理由	<p>協会の定款に定める協会の目的に資する事業を推進し「倫理綱領」を体現する正会員の代表者であり、豊富な経験、高い見識、高度な専門性や能力を有し、協会発足以来理事として、またガイドライン策定・検討委員会委員長として、当協会事業の推進に尽力しており、理事会の構成に欠かせない必要な人材と判断し、会員理事候補者といたしました。</p>

会員理事候補者番号 5 (立候補)

氏名 (ふりがな)	田中 譲治 (たなか じょうじ)
生年月日	1957 年 2 月 21 日
経歴	<p>大和証券、モルガンスタンレー証券、UBS 証券、メリルリンチ日本証券にて、機関投資家向け株式営業、及び個人資産管理型営業に携わった後、2002 年に独立系ファイナンシャル・アドバイザー (IFA)として独立。</p> <p>2009 年 2 月に株式会社アイ・パートナーズフィナンシャルへ資本・経営参加</p> <p>2014 年 5 月に代表取締役社長就任 (現任)</p>
立候補した理由	<p>金融商品仲介業・IFA 業界の健全な発展のためには、また「所得倍増プラン」の「顧客本位の業務運営の確保」のためには、金融商品仲介業者の内部管理体制の強化は不可欠であると認識しております。また、昨今の金融商品仲介業者に対する財務局の検査等では、特にモニタリング体制の不備が指摘されているなど、所属金融商品取引業者の指導に依拠するのみではなく、金融商品仲介業者自らによる内部管理体制の構築が求められている状況にあります。</p> <p>当社は、この 1 年ほど大手証券会社レベルのモニタリング体制構築を目指すなど、金融商品仲介業者の「あるべき管理体制確立」に努めてまいりました。他の金融商品仲介業者や金融商品仲介業に関わる業界からの要望もあり、私は、ファイナンシャル・アドバイザー協会に理事として参加し、委託証券会社等のご協力を得ながら、当社の経験・知見も活用して、金融商品仲介業者に求められる内部管理体制構築の推進に貢献したいと考えました。</p> <p>ひとえに IFA 業界の発展に向けお役に立ちたいという思いから、この度ファイナンシャル・アドバイザー協会理事に立候補いたしますので、何卒よろしくお願い申し上げます。</p>

会員理事候補者番号 6 (立候補)

氏名 (ふりがな)	可児 康充 (かに やすみつ)
生年月日	1966 年 9 月 13 日生
経歴	<p>1989 年に国内証券会社に入社し、日経平均株価史上最高値 (38,915.87 円) からのバブル崩壊を経験</p> <p>その後、外資系生命保険会社を経て、2005 年に保険乗合代理店エフピーサポート株式会社入社し、リテール向けライフプランニング、法人向けリスクマネジメント等に従事、MDRT 終身会員</p> <p>2019 年 4 月に執行役員として IFA 事業を立ち上げる。</p> <p>2023 年 4 月に取締役就任 (現任)</p> <p>IFA 事業部事業部長、保険事業部副事業部長を兼任 (現任)</p> <p>ライフプランニングを得意とし、生命保険、損害保険、投資信託、ラップサービス等を総合的に提案、さらに自社開発した保険代理店支援システムによりアフターフォローまで行っていることに強みを持つ。</p> <p>顧客に「まもる」「ふやす」「のこす」のワンストップサービスを提供し、長期資産形成・資産運用に特化した保険系 IFA 法人の先進モデルとして業界、マスコミなどから注目され保険会社向けセミナー等も行っている。</p>
最近 1 年間の協会活動等の実績	<p>ガイドライン策定・検討委員会の委員として開催 7 回中 6 回出席</p> <p>2023 年 4 月正会員等定例会における勉強会/進行役</p>
立候補した理由	<p>岸田政権の掲げる「資産所得倍増計画」のもと、「新 NISA」など日本も本格的に「貯蓄から投資へ」の時代が始まろうとしております。</p> <p>しかしながら、IFA 法人登録外務員数は約 6500 名程度と、その担い手は圧倒的に不足しているのが現状で、さらには顧客の長期資産形成を伴走するはずの IFA の一部が自身の販売手数料目当てとも受け取られかねない商品の販売などを行うことにより「玉石混合」と評価されていることは残念なことです。</p> <p>また、私は昨年度、貴協会のガイドライン策定・検討委員会に参加させていただくことにより「監督の空白問題」等、いわゆる横ぐしを通した業務品質基準が保険業界よりもかなり遅れていると感じ、そこに大きな成長の阻害要因があると考えております。</p> <p>私たち保険代理店は 2016 年保険業法改正を受け、痛みを伴いながらも業界を挙げてその品質強化に努めてまいりました。</p> <p>さらに今年からは生命保険協会による「代理店業務品質評価運営」の運用が開始され、弊社もその認定を受け、まさに証券界にこれから訪れる変革に、私たちのような横ぐしの通った取り組みの知見を活かすことができると考えております。</p> <p>いまや「顧客本位の業務運営」は金融に携わるものとして、業界の垣根を超えて取り組むべき課題と感じております。</p> <p>生命保険代理店の法人代理店数は約 3,300 店、募集人は約 98 万人。</p> <p>これらの人材の中でこうした業務品質の伴った保険系 IFA の参入を促すことができるならば、日本の資産形成に大きく寄与できると考えており、保険代理店と IFA の橋渡し役として貴協会と業界のお役に立てるよう努めて参りたいと考えております。</p>

第2号議案 任期満了に伴う外部理事2名選任の件

本定時社員総会の終結の時をもって、外部理事が任期満了となることから、外部理事2名の選任を求めるものであります。

外部理事の候補として、候補者名簿掲載の2名を外部理事に選任することにつき、候補者1人ずつに対する賛否をお聞きます。

【外部理事候補者】

候補者 番号		氏名	所属企業名	所属企業役職
1	重任	吉永 高士 (よしなが たかし)	NRI アメリカ	金融・IT 研究部門長
2	新任	幸田 博人 (こうだ ひろと)	株式会社イノベーション・インテリジェンス 研究所	代表取締役社長

外部理事候補者番号 1 (重任)

氏名 (ふりがな)	吉永 高士 (よしなが たかし)
生年月日	1964 年 12 月 5 日
経歴	<p>『週刊金融財政事情』記者、金融財政事情研究会ニューヨーク事務所長等を経て、2005 年 NRI アメリカに入社し、2011 年より金融調査を統括</p> <p>四半世紀以上に渡り米国を本拠に金融機関の経営戦略や戦術、オペレーション、制度問題等を研究し、日米の金融機関経営の深化に向けた経営者や実務家向けコンサルティング 講演、執筆活動等に従事</p> <p>ファイナンシャルプランニングで特定された個人投資家ファミリーのゴール (人生の目標や深刻な課題等) を中長期分散投資とファイナンシャルアドバイザーの継続的コンサルティングにより実現する「ゴールベース資産管理」(Goals-based wealth management) アプローチを日本で普及・推進する活動にも 15 年以上前から取り組む</p> <p>2003 年より米国登録ファイナンシャルジェロントロジスト 米国マネーマネジメント協会会員</p>
理事在任年数(設立時から)	4 期 3 年 5 カ月
2 年間の理事としての活動等の実績	<p>理事会出席状況：開催 16 回のうち 15 回出席</p> <p>研修委員会出席状況：副委員長として、開催 12 回のうち 12 回出席</p> <p>ガイドライン策定・検討委員会の副委員長として開催 7 回のうち 7 回出席</p> <p>ゴールベース・プランニング基礎スキル研修の企画・立案・監修(全 6 回コース)</p> <p>ゴールベースアプローチ実戦編勉強会(研修)の企画・立案(全 4 回)</p> <p>FA カンファレンスの企画・立案(2 回)</p> <p>セミナーの企画・立案(11 回)</p> <p>勉強会の企画・立案 (4 回)</p> <p>セミナーへの出講等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2021 年 10 月 22 日第 6 回セミナー/モデレーター ・2021 年 12 月 17 日第 7 回セミナー/モデレーター ・2022 年 11 月 22 日第 4 回_ゴールベースアプローチ実践編<勉強会>/講師 ・2022 年 2 月 25 日第 2 回カンファレンス/講師 ・2022 年 12 月 2 日第 3 回カンファレンス/講師
理事候補者とした理由	<p>豊富な経験、高い見識、高度な専門性や能力を有し、協会発足以来理事として、また研修委員会及びガイドライン策定・検討委員会の副委員長として、当協会事業の推進に尽力しており、理事会の構成に欠かせない必要な人材と判断し、外部理事候補者といたしました。</p>

外部理事候補者番号2（新任）

氏名（ふりがな）	幸田 博人（こうだ ひろと）
生年月日	1959年6月8日
経歴	<p>1982年、一橋大学経済学部卒</p> <p>1982年、日本興業銀行入行</p> <p>2009年よりみずほ証券執行役員、常務執行役員、代表取締役副社長等を歴任</p> <p>2018年7月より現職である(株)イノベーション・インテリジェンス研究所代表取締役社長、リーディング・スキル・テスト(株)代表取締役社長、京都大学経営管理大学院 特別教授、一橋大学大学院経営管理研究科 客員教授、SBI 大学院大学経営管理研究科 教授、(株)産業革新投資機構 社外取締役ほかベンチャー企業、プライベートエクイティファンドなどの社外取締役を務める</p> <p>1992年以降、金融制度改革、金融ビッグバン等資本市場改革に係る制度調査・市場分析、FINTECHを含めたイノベーション支援等に従事</p> <p>コーポレートファイナンス、プライベート・エクイティ投資、金融制度・資本市場の動向などが専門</p>
理事候補者とした理由	豊富な経験、高い見識、高度な専門性や能力を有し、当協会理事会の構成に欠かせない必要な人材と判断し、外部理事候補者いたしました。

第3号議案 任期満了に伴う監事1名選任の件

本定時社員総会の終結の時をもって、監事が任期満了となることから、監事1名の選任を求めるものであります。

監事の候補として、候補者名簿掲載の1名を監事に選任することにつき、候補者に対する賛否をお聞きします。

【監事候補者】

候補者番号	氏名	所属企業名	所属企業役職
1	重任 東谷 俊幸 (ひがしだに としゆき)	東海東京証券株式会社	IFA 統括部付部長

監事候補者番号1（重任）

氏名（ふりがな）	東谷 俊幸（ひがしだに としゆき）
生年月日	1967年9月29日
経歴	1990年三洋証券入社。1997年会社更生法申請を受けエース証券へ 2008年から3年間IFAビジネス本部部長 2011年から営業部店長、人事部長を経て2019年9月IFAビジネス本部副本部長 2022年5月東海東京証券株式会社 IFAカンパニーIFA推進部門部門付部長 2023年4月東海東京証券株式会社 IFAカンパニーIFA統括部付部長（現任）
監事在任年数	設立時から4期 3年5カ月
2年間の監事としての活動等の実績	理事会出席状況：開催16回のうち15回出席 セミナーへの出講等 ・2021年12月17日第7回セミナー/パネリスト
監事候補者とした理由	同氏は、豊富な経験・能力及び財務・会計・法務に関する知識を有する者であり、監事として適任であると考え、監事候補者いたしました。

事業報告書

(第 4 期)

自 2022年 4月 1日
至 2023年 3月 31日

一般社団法人 ファイナンシャル・アドバイザー協会

一般社団法人 ファイナンシャル・アドバイザー協会
第4期（2022年度）事業報告書（案）

I 概要

第4期（2022年度）は、事業計画に基づき、前期に引き続き「顧客本位の業務運営」の推進に注力しながら、会員の品質向上や会員の役職員等の専門性及び倫理観の向上に資する事業を行った。また、会員の認知度向上に資する事業その他会員間の情報共有、行政や関係団体等との連携、会員加入促進のための事業やモニタリング等の事業を行った。

なお、各種イベントは、新型コロナウイルス感染症の状況を見極めながら対面中心に開催した。

II 事業報告

1 会員加入状況

2023年3月末時点の会員の加入状況は、以下のとおり合計76先となった。

	正会員	法人アソシエイト	個人アソシエイト	委託正会員	法人賛助会員
2021年3月末	20社	6社	10名	8社	30社
2022年3月末	23社	6社	12名	8社	29社
2023年3月末	24社	5社	11名	7社	29社
増減	1社	-1社	-1名	-1社	±0社

2 定款の一部改正について

6月17日開催の社員総会で主たる事務所を港区から中央区に変更する改正を行った。

3 「顧客本位の業務運営」の推進

ガイドライン策定・検討委員会の開催状況

2022年6月14日の理事会の決議により、会員の品質向上に資することを目的としたガイドライン策定・検討委員会が発足した。

今年度中、以下のとおりガイドライン策定・検討委員会を6回開催した。

開催日	テーマ
第1回 2022年7月22日	委員会設置の趣旨、スケジュール感について
第2回 2022年9月7日	ガイドラインに関して ベストプラクティスに関して 今後のスケジュールイメージ

第3回 2022年10月21日	「監督の空白構造」問題について IFAの自己取引に関する問題について
第4回 2022年11月30日	
第5回 2022年12月21日	
第6回 2023年3月8日	「チェックシート」(たたき台)について

4 会員の役職員等の専門性及び倫理観の向上

(1) 研修委員会の開催状況

今年度中、以下のとおり研修委員会を6回開催した。

開催日	テーマ
第1回 2022年5月10日	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴールベースアプローチ実践編勉強会について協議を開始した。 ・6月セミナーのテーマや講師候補者を決定した。
第2回 2022年7月12日	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴールベースアプローチ実践編勉強会を年度内4回開催することとし講師候補者を決定した。 ・8月セミナーのテーマや講師候補者を決定した。
第3回 2022年9月13日	<ul style="list-style-type: none"> ・第3回FAカンファレンスの開催日や会場の決定及びプログラムの概要を決定した。 ・10月セミナーのテーマや講師候補者を決定した。
第4回 2022年11月8日	<ul style="list-style-type: none"> ・第3回FAカンファレンスのプログラムを決定した。
第5回 2023年1月17日	<ul style="list-style-type: none"> ・2月セミナーのテーマや講師候補者を決定した。 ・正会員等定例会時の勉強会やゴールベースアプローチ実践編勉強会の来期の開催方針について協議した。 ・来期の海外視察について協議を開始した。
第6回 2023年3月14日	<ul style="list-style-type: none"> ・来期の研修及びセミナーの方針や計画について協議を行った。 ・正会員等定例会時の勉強会では正会員の経営者等によるラウンドテーブルミーティングを行うことを決定した。

(2) セミナー実施状況

今年度中、以下のとおり5回のセミナーを実施した。

開催日	テーマ	登壇者
第1回 2022年4月22日	最近の苦情・あっせん事例の紹介	FINMAC 事務局長 丸野雅人氏
第2回 2022年6月17日	① 株式市場の本当の話 ② IFAと金融サービス仲介業の共存と可能性	マーケットエッセンシャル 主筆 前田昌孝氏 400F代表取締役 (一般社団法人日本金融サービス仲介業協会代表理事会長) 中村仁氏

第3回 2022年8月26日	分断とインフレの時代	ピクテ・ジャパン シニアフェロー 市川眞一氏
第4回 2022年10月28日	投資信託の販売会社による顧客本位の業務運営のモニタリング結果について 金融庁 (令和4年6月30日)	金融庁総合政策局 コンダクト企画室長 信森毅博氏
第5回 2023年2月17日	転換期を迎えるグローバル市場の行方	野村アセットマネジメント シニアストラテジスト 石黒英之氏

(3) ゴールベースアプローチ実践編勉強会の実施

会員所属アドバイザーの専門知識やスキルの向上を目的として、教材的なものではなくケーススタディを積み上げる勉強会として、ゴールベースアプローチの実践編プログラムを以下のとおり4回実施した。

開催日	テーマ	登壇者
第1回 2022年8月23日	ゴールベースアプローチの実務について	GAIA代表取締役社長兼CEO 中桐啓貴氏 IFA事業部統括部長 川越一輝氏
第2回 2022年9月27日	アドバイザーと一緒に考えるインフレに負けない資産防衛の考え方	野村アセットマネジメント エグゼクティブシニアフェロー 千田 聡氏
第3回 2022年10月25日	営業の現場での経験や手法について	ファイナンシャルスタンダード ファイナンシャルアドバイザー 石川裕次郎氏
第4回 2022年11月22日	高度で複雑な顧客ゴールやニーズに対応するための内外専門家との連携	NRIアメリカ金融・IT研究部門長 吉永高士氏

(4) FA カンファレンス実施状況

第3回FAカンファレンスは、2022年12月2日、対面120名とオンライン130名の参加を得て実施した。また賛助会員6社による出展及びミニセミナーを開催した。

イベント	テーマ	登壇者
特別講演	お客さまとの信頼をつなぐ顧客ロイヤルティ	NPO 法人顧客ロイヤルティ協会 理事長 伊藤秀典氏 副理事長 研修部部长 高木雄子氏
基調講演	顧客本位の業務運営の確保と金融サービスの向上への取組	金融庁企画市場局 市場課長 島崎征夫氏

講演	米国の元祖が語るゴールベース資産管理とフィーベース事業モデルの真髄	NRI アメリカ 金融・IT 研究部門長 吉永高士氏 スノーデンレーン・パートナーズ会長（米有力RIA）ライル・ラモス氏
パネルディスカッション	資産所得倍増プランに向けて IFA に期待すること	三井住友 DS アセットマネジメント フェロー 宗正彰氏 UBS アセット・マネジメント 代表取締役社長 三木桂一氏 日興アセットマネジメント マーケティンググローバルヘッド 今福啓之氏 日本資産運用基盤グループ 代表取締役社長 大原啓一氏
座談会	今ファイナンシャルアドバイザーに必要なこと	バリューマネジメント 代表取締役社長 中浜祐士氏 GAIA プライベート・ファイナンシャルプランナー 新屋真摘氏 IFA Leading 代表取締役 長谷川学氏 ファイナンシャルスタンダード 代表取締役 福田猛氏

5 会員の認知度向上

今年度中、以下のとおり認知度向上委員会を6回開催した。

開催日	テーマ
第1回 2022年5月25日	IFA 重要用語の定義について ニュースレターの一般公開について コラム進捗状況について 講師派遣セミナーの実施について
第2回 2022年7月25日	広報業務の外部委託について コラムの進捗状況について 出張セミナーについて 全国家庭科教育協会(ZKK)の入会について
第3回 2022年9月28日	コラムの掲載開始について 出張セミナーの検討 全国家庭科教育協会賛助会員加入について 公式 Twitter の開設について 協会説明会の実施について 第3回 F A カンファレンスの実施について
第4回 2022年11月30日	2023年度の活動について
第5回 2023年1月25日	出張セミナーについて 一般投資家向けセミナーについて

第6回 2023年3月22日

一般投資家向けイベントについて

① 一般投資家向け金融教育への取組み

金融教育セミナー開催に向け、投資教育のニーズを掴むため全国家庭科教育協会の賛助会員に入会した。

② 認知度向上に資するデータの公表

後述「7 会員の加入促進及び品質維持」により実施したモニタリング結果の報告を公表した。

③ 協会ホームページ等の活用

- ・協会ホームページに「投資を学ぼう」のコラムを8本掲載し一般投資家向けコンテンツの充実を図った。
- ・公式 Twitter アカウントを開設した（投稿数 43 件）。

④ メディア等の対応

- ・メディア説明会を開催した。13 媒体 19 名の参加があった。
- ・協会や会員の活動について専門情報誌への寄稿や広告を実施する等情報発信に努めた。今年度中に発信した「お知らせ」は 53 件（うち 26 件は会員限定の「お知らせ」）。

6 会員間及び行政等との情報共有や意思疎通等連携の促進

① 会員間の情報共有

今年度中、会員間の意見や情報交換、金融商品仲介業界における課題認識を共有する場として、正会員及び法人アソシエイトを対象に正会員等定例会を以下のとおり 4 回開催した。また、6 月、10 月及び 2 月に懇親会を開催した。

開催日	テーマ	登壇者
第 1 回 2022 年 4 月 22 日	IFA の専門性を高めるための 必読書とは	GAIA 代表取締役社長 兼 CEO 中桐啓貴氏
第 2 回 2022 年 8 月 26 日	金融商品仲介業と銀行代理業 (住宅ローン) の兼業の相乗 効果について	SBI マネープラザ 代表取締役執行役員社長 太田智彦氏 同社執行役員住宅ローン営業部長 小林悟史氏
第 3 回 2022 年 10 月 28 日	顧客開拓とマーケティングの ヒント	Fan 代表取締役 尾口紘一氏 フィナンシャルリンクサービス 代表取締役 伊月貴博氏 バリュアアドバイザーズ 代表取締役社長 五十嵐修平氏
第 4 回 2023 年 2 月 17 日	金融商品仲介業と不動産事業	ファイナンシャルスタンダード 代表取締役 福田 猛氏 同社不動産鑑定士 福田伸二氏

② 行政や関係団体等との連携

金融審議会市場制度ワーキング・グループ「顧客本位タスクフォース」にオブザーバーとして参加し、当協会として意見陳述を行った。

金融庁市場課を訪問し、協会の現状や課題認識について報告、意見交換を行った。

日本証券業協会やFINMAC、投資信託協会など、広報や研修、情報収集等で連携・協働した。

7 会員の加入促進及び品質維持

① 協会説明会の実施

2022年10月18日 大阪で開催し、7社11名、個人1名、計12名の参加があった。

2023年3月8日 東京で開催し、9社12名の参加があった。

② モニタリングの実施

正会員が倫理綱領・行動規範に沿って真に顧客本位の業務運営に取り組んでいるかを把握するため、第2回モニタリングを実施した。

事業報告の附属明細書

- ・ 2022年度事業報告には、事業報告の内容を補足する重要な事項は特になく、**「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書は作成しない。**

決算報告書

(第 4 期)

自 令和 4 年 4 月 1 日

至 令和 5 年 3 月 31 日

一般社団法人ファイナンシャル・アドバイザー協会

東京都中央区日本橋人形町 3 - 3 - 5

天翔日本橋人形町ビル 3 0 2

一般社団法人ファイナンシャル・アドバイザー協会

貸借対照表

令和 5 年 3月31日現在

(単位:円)

科目	金額
I 資産の部	
【流動資産】	
現金及び預金	24,538,193
立替金	74,800
前払費用	330,000
預け金	520,000
流動資産合計	25,462,993
資産の部合計	25,462,993
II 負債の部	
【流動負債】	
未払費用	3,236,477
未払法人税等	70,000
預り金	287,120
流動負債合計	3,593,597
負債の部合計	3,593,597
III 純資産の部	
【株主資本】	
利益剰余金	
その他利益剰余金	
前期繰越金額	24,136,008
当期純利益金	△2,266,612
その他利益剰余金合計	21,869,396
利益剰余金合計	21,869,396
株主資本合計	21,869,396
純資産の部合計	21,869,396
負債及び純資産合計	25,462,993

一般社団法人ファイナンシャル・アドバイザー協会

収支計算書

自 令和 4年 4月 1日 至 令和 5年 3月31日

(単位：円)

【経常収益】	
正会員会費	5,600,000
アソシエイト会費	669,999
委託正会員会費	14,166,666
賛助会員会費	24,083,333
経常収益計	44,519,998
【経常費用】	
経常費用計	46,799,468
事業収支差額	△2,279,470
【経常外収益】	
雑収入	82,858
営業外収益合計	82,858
経常収益	△2,196,612
税引前当期純利益	△2,196,612
法人税、住民税及び事業税	△70,000
当期純利益金	△2,266,612

一般社団法人ファイナンシャル・アドバイザー協会
 貸借対照表の附属明細書
 令和 5年 3月31日現在

(単位:円)

科目		金額	
I 資産の部			
【流動資産】			
現金及び預金			
現金	小口現金	16,135	
普通預金	みずほ銀行 茅場町支店	24,522,058	
		24,538,193	
立替金	住民税(4月・5月分)	74,800	
前払費用	事務所前払家賃 4月・5月分	330,000	
預け金	(株) リクルートスタッフィング預け金	520,000	
	流動資産合計		25,462,993
	資産合計		25,462,993
II 負債の部			
【流動負債】			
未払費用		3,236,477	
人件費		1,659,923	
外注費 (グッドウェイ・広報委託業務・ガイドライン関連)		1,045,000	
消耗品費		34,848	
懇親会費、会議費、事務用品等		291,546	
支払報酬 (コラムインタビュー9名)		198,000	
健康診断料 (1名)		7,160	
		3,236,477	
未払法人税等	令和4年度法人税	70,000	
預り金	令和4年度源泉徴収税等	287,120	
	流動負債合計		3,593,597
	負債合計		3,593,597
	正味財産		21,869,396

一般社団法人ファイナンシャル・アドバイザー協会

支出内訳書

自 令和 4年 4月 1日 至 令和 5年 3月31日

(単位:円)

人件費（人材派遣費含む）	17,322,823
外注費	6,971,729
広告宣伝費	2,188,400
会議費	614,411
旅費交通費	113,460
通信費	281,522
事務用消耗品費	974,682
支払手数料	182,682
地代家賃	2,062,500
租税公課	60,000
支払報酬料	4,703,160
金融教育費	40,000
雑費	87,900
イベント特別経費	10,153,553
研修費	1,042,646
支出合計	46,799,468

令和5年5月25日

監査報告書

一般社団法人 ファイナンシャル・アドバイザー協会
代表理事 中桐 啓貴 殿

一般社団法人 ファイナンシャル・アドバイザー協会

監事 東谷 俊幸



私は、当社団法人の定款第23条の規定に基づき、第4期事業年度（令和4年4月1日から令和5年3月31日まで）における会計及び業務の監査を行いましたので、次の通り報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

- （1）会計監査について、帳簿ならびに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて、計算書類の正確性を検討した。
- （2）業務監査について、理事会及びその他の会議に出席し、理事からの業務報告を聴取し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて業務執行の妥当性を検討した。

2. 監査の結果

- （1）事業報告及びその附属明細書は法令及び定款に従い当法人の状況を正しく表示しています。
- （2）理事の職務の遂行に関し、不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。
- （3）当法人の業務の適正を確保するために必要な体制の整備等についての理事会の決議の内容は相当です。
- （4）貸借対照表および損益計算書とその附属明細書は当法人の財産及び損益の状況を全ての重要な点において適正に表示しています。

以上

第5期（令和5年度）事業計画案

一般社団法人 ファイナンシャル・アドバイザー協会

第5期事業計画は、事業計画案策定のための会員アンケート（2023年1月18日実施）に寄せられた会員の意見を尊重し作成した。

I 「顧客本位の業務運営」の推進・会員の品質向上

- ①正会員の遵守すべきガイドラインの策定・公表を行う。また、自己点検シートを順次策定し、正会員に点検を求める。
- ②顧客本位を極めるためのアドバイザーのベスト・プラクティスを策定し、会員に共有する。
- ③正会員の倫理綱領等の遵守状況や営業・財産の状況を把握するためのモニタリングを実施する。
- ④会員の役職員等のアドバイスキルの向上に資する研修やセミナー及び職業倫理の維持・向上に資する研修やコンテンツの会員への提供並びに米国視察を実施する。また、委託正会員や賛助会員から研修コンテンツの提供を受け活用する。

II 金融商品仲介業の社会的認知の向上

- ①投資未経験者や初心者に投資への正しい理解を促し投資への関心を喚起するイベントを実施する。

②証券・金融関連団体、学校法人、地域コミュニティ、企業が主催するセミナー等に現役の IFA を派遣し、金融教育のための講演・講義を行う。なお、講師の所属会社や個別の商品について一切の説明や勧誘は行わないことに留意する。

③業界の関係者や業界に関心を持つ方々を招待し、講演会・座談会や賛助会員の出展等からなるカンファレンスの開催を通じ、金融商品仲介業の浸透と協会活動の周知を図る。

④会員の拡大を目的に協会の活動等についての説明会を開催する。

⑤上記 I のモニタリング等で取得した情報を集計し、統計データを公表する。

※これらの周知や広報にはホームページやツイッターを活用する。

Ⅲ 会員間及び行政等との情報共有や意思疎通等連携の促進

①会員共通の課題をテーマとした勉強会を実施する。

②行政や関係団体等による制度や施策に関する講演会等を実施する。

これら I～Ⅲの活動を通じて会員の加入促進を図る。

以 上

一般社団法人ファイナンシャル・アドバイザー協会 第5期 収支予算

(単位:円)

第5期(2023年度)収支予算(2023年4月1日~2024年3月31日)

科目	2023年度予算	2022年度実績	2022年度予算	備考(2023年度予算)	備考(2022年度実績)	備考(2022年度予算)
【経常収益】	42,464,999	44,602,856	44,366,666			
会費収益	42,464,999	44,519,998	44,366,666			
正会員受取会費	6,480,000	5,600,000	5,520,000	27社(5月末現在)	24社(年度末)	正会員23社(年度末)
ﾌﾞﾗﾝﾄﾞ受取会費	568,333	669,999	680,000	法人アソシエイト4社(5月末現在) 個人アソシエイト11名(5月末現在)	法人アソシエイト5社(年度末) 個人アソシエイト11名(年度末)	法人アソシエイト5社(年度末) 個人アソシエイト8名(年度末)
委託正会員受取会費	12,000,000	14,166,666	14,166,666	6社(5月末現在)	7社(年度末)	委託正会員7社(エース証券4年度4月分のみ)(年度末)
法人賛助会員受取会費	23,416,666	24,083,333	24,000,000	28社(A会員19社、B会員9社)(5月末現在)	29社(A会員21社、B会員8社)(年度末)	28社(A会員20社、B会員8社)(年度末)
事業収益	0	82,858	0			
雑収入	0	82,858	0		雑誌への寄稿、謝礼	
【経常支出】	45,760,000	46,869,468	47,150,000			
事業費	21,800,000	22,729,010	25,650,000			
外注費	1,600,000	5,555,000	4,700,000	グッドウェイへの委託料1,320,000 (審査業務支援22万(55,000×4回)) (モニタリング調査支援440,000) (運営アドバイス660,000(55,000×12月)) ガイドライン作成支援等(アットラーニング社)280,000	グッドウェイへの委託料1,716,000 (審査業務支援2回/110,000) (2022年度モニタリング調査支援440,000) (運営アドバイス660,000(55,000×12)) (協会HP コラム投稿機能追加 495,000) (その他HP追加作成11,000) ・広報業務委託費3,575,000 ・ガイドラインチェックリスト作成アットラーニング264,000	グッドウェイ運営2,160,000 (アドバイス66万(55,000×12)) (その他150万円)
支払報酬料	4,300,000	3,135,000	2,800,000	理事3,020,000(1,210,000×2名)+委員会30万×2つの委員会 審査委員660,000 (審査委員会440,000(1回55,000円×2名×4回開催)) (モニタリング22万(110,000×2名)) コラム600,000(55,000+20,000)×8本	・理事(2名)1,760,000(880,000×2) ・審査委員(2名)792,000 (審査委員会2回=220,000) (2021モニタリング調査@110,000×2=220,000) (2022モニタリング調査@110,000×2=220,000) (モニタリング打合せ(3回)@22,000×2×3=132,000) ・コラム執筆(西山氏)(7回)385,000 ・コラム取材謝金(9名)198,000	理事 1,760,000 審査委員報酬 @55,000×3回出席×2名 +協会主催会議出席1回@22,000×2名=374,000 審査委員モニタリングレポート作成 15万×2 コラム執筆謝礼 30万
イベント特別経費	11,700,000	10,153,553	12,500,000	グッドウェイ委託料2,100,000(総会・正会員等定例会・セミナーサポート) 説明会1,000,000(50万×2回) セミナー等登壇者謝金500,000 FAカンファレンス2,500,000 会員懇親会1,600,000(20万×4回+80万) 一般向けイベント1,500,000 米園視察2,500,000(約25名参加、個別訪問の謝礼と現地懇親会費用、事務局 帯同者旅費を含む) なお、参加者負担は、協会負担以外のもの、具体的には、カンファレンス参 加費、飛行機チケット代、宿泊代、現地交通費、懇親会以外の飲食代など。	・グッドウェイ委託料2,095,595(正会員等定例会4回、セミナー、社員総会サ ポート、)(※定例会、セミナーの会場費を含む) ・10/18大阪説明会 336,600、交通費165,780 ・3/8 東京説明会 588,393 ・セミナー等登壇者謝金412,500 ・12/2第3回カンファレンス5,225,822(登壇謝金含む) ・懇親会1,328,863(6/17 282,000、10/28 796,863、2/17 250,000)	カンファレンス 550万 正会員等定例会 50万×4回=200万 懇親会 100×2回=200万 総会 50万+懇親会100万=150万 説明会30万×5=150万 ※各項目に登壇者への謝礼及びGWの支援含む
研修費	1,000,000	1,042,646	1,000,000	会場費を想定	ゴールベースアプローチ勉強会(4回開催)、登壇謝礼金	会場費を想定
金融教育費	500,000	40,000	1,000,000	講師派遣セミナーの講師交通費460,000 家庭科教育協会令和5年度会費40,000	・家庭科教育協会令和4年度会費(令4年4月~令5年3月)	
広告宣伝費	2,000,000	2,188,400	3,000,000	実績と同程度	・ニッキン、(冊中、年賀)名刺掲載広告料100,000 ・きんざい11/22号原稿製作費330,000 ・保険毎日新聞(10/4掲載198,000、11/18掲載360,000)、月刊金融ジャー ナル11月号100部92,700 ・雑誌きんざいファイナンシャルプラン1月掲載(18部)128,700 ・ファンド情報誌880,000 ・PR TIMES3回(カンファレンス、モニタリング調査結果、キャピタル社入 会)99,000	
会議費	600,000	614,411	400,000	実績と同程度	理事打合せ等	対面開催想定
予備費	100,000	0	250,000			
管理費	23,960,000	24,140,458	21,500,000			
人件費 (人材派遣費含む)	17,500,000	17,322,823	14,000,000		専任職員1名+派遣社員2名(1名10/24~)	
外注費	1,300,000	1,416,729	2,000,000	グッドウェイ委託料1,238,000 (HP運営・ITサポート1,188,000(99,000×12ヶ月)) (その他PC作業等50,000) 司法書士登記手続き63,000円	グッドウェイ委託料1,277,100 (HP運営、ITサポート1,188,000(99,000×12ヶ月)) (その他PC更新作業等89,100) ・楽天証券業務委託費(4.5月分)=110,000 ・司法書士登記手続き29,629	
旅費交通費	100,000	113,460	200,000		PASMOチャージ、タクシー、その他電事費	
通信費	300,000	281,522	250,000		固定電話、携帯電話、郵便代、Zoom年間利用料、レターパック購入代、ニッ キン購読料等	
消耗品費	700,000	974,682	600,000		HIT、Formzu、Vimeo、名刺代、ジョブカンフロー、 その他(弥生会計サポート料等)、日経テレコム、お名前ドットコム使用料 事務用品費(I-PC2台購入)28万、文房具等	
支払手数料	150,000	182,682	150,000		銀行振込手数料等	
地代家賃	2,140,000	2,062,500	2,310,000	2,134,000(187,000×2月)+(176,000×10月)	・青山192,500×4月5月6月=577,500 ・人形町165,000×9=1,485,000	
支払報酬料	1,580,000	1,568,160	1,700,000	弁護士660,000 @55,000×12 税理士550,000 @27,500×12+決算書作成22万 社労士358,160 @27,940×12+その他年末調整等	弁護士 @55,000×12=660,000 税理士 @27,500×12+決算書作成220,000=550,000 社労士 @27,940×12、その他年末調整等=358,160	
租税公課	20,000	60,000	20,000		事務所移転に係る登記印紙税	
法人税	70,000	70,000	70,000		法人税	
予備費	100,000	87,900	200,000		・事務所引越し費用80,000 ・電話工事7,900	
収支差額	-3,295,001	-2,266,612	-2,783,334			
前期繰越金	21,869,396	24,136,008	24,136,008			
次期繰越金	18,574,395	21,869,396	21,352,674			